

### ①兵庫に根ざし世界に知られる地場産業

県内各地の多様な地場産業が新商品の開発を通じて高付加価値化し、マーケティングや販路開拓により、世界から注目されるブランド力をつけている。

#### 2040年の生活シーン

##### <プロフィール>

- 40代の男性。但馬地域で鞆店を経営している。
- 県外の大学でデザインを学び、アパレル商社に就職してデザイナーとして働いていたが、その会社で取扱っていたバッグが豊岡で生産されているものだと知り、その品質の高さに驚いた。
- 30代で独立し、セレクトショップを開いたときに、オリジナル商品として豊岡鞆を扱うことにした。数年間は豊岡に通い、鞆職人との共同作業で商品を作っていたが、鞆づくりにもっと深く関わりたいとなり、また、自然豊かな但馬の住環境にも惹かれて、40歳で一念発起し、但馬に移住して店を持つことを決意した。

##### <鞆づくり>

- 移住当初は、豊岡の鞆製造の技を学ぶために、1年間鞆工場で働かせてもらった。この間に、卓越した技を持つ職人さんたちとの人脈ができ、素材や機材の活用のコツを身につけることもできた。
- 豊岡の鞆づくりの技術は世界に誇れるものだが、30年ほど前までは受託生産が主体だったため、鞆が売れても豊岡の名前が出ることはなかった。
- それが、最近、メイド・イン・豊岡を前面に打ち出してデザインされたバッグが、海外の品評会で大きな賞を受賞することが続いた。私の店のバッグも、先日、ミラノの展示会に初めて出品して好評を得ており、日本の鞆づくりの拠点といえば豊岡と、世界で認知されるようになっていく。
- 今は、兵庫の地場産品の良さを多くの人に知ってもらうため、播州織や龍野の皮革といった素材を組み合わせた鞆づくりにも挑戦している。私はデザイナーの育成にも力を入れているが、豊岡鞆の職人技を継承したい若い人がどんどん但馬に入ってきている。豊岡鞆の製造は、今や但馬地域の産業や雇用の大きな柱だ。

##### <販路開拓・ブランド形成>

- 豊岡鞆を本場で手に入れようと、海外観光客に人気の高い城崎温泉との組み合わせで、多くの外国人が豊岡市内の「カバンストリート」を訪れている。オーダーでバッグを作る富裕層の間では、豊岡鞆を持つことがステータスの一つになっている。
- 私の店のインターネット販売では、世界各国から注文が入るようになってきた。セレクトショップを運営していたときに培われた国内外のネットワークも活用しながら販路を広げ、世界中の人たちに豊岡鞆の素晴らしさを知ってもらうのが私の目標だ。

## 現状

### 【主な地場産業（県）】

	企業数	主産地
食料品	手延素麺（播州）	459 九つの市、宍粟市、姫路市、太子町
	手延素麺（淡路）	15 南あわじ市
	乾麺	9 九つの市、姫路市周辺
	清酒	84
	（うち灘五郷）	28 神戸市、西宮市
	醤油	12 九つの市周辺
繊維	姫路の菓子	42 姫路市
	播州織	191 西脇市周辺
	糸・染色	8 西脇市周辺
	郷糸	21 西脇市周辺
	但馬ちりめん	43 豊岡市
	靴下	66 加古川市周辺
	作業手袋	6 加古川市
	神戸アパレル	(187) 神戸市
化学・雑貨	皮革（一次製品）	271 姫路市、九つの市、川西市、太子町
	にかわ・ゼラチン	5 姫路市
	ゴム製品	40 神戸市周辺
	ケミカルシューズ	69 神戸市
	マッチ	20 姫路市、太子町、神戸市
	線香	15 淡路市
	神戸家具	13 神戸市
	そろばん	24 小野市
	木工芸品	14 小野市
	紀伊製品	(4) 豊岡市
	かばん	57 豊岡市
	放線維加工	17 高砂市
	ざりあての樹脂紐	1 丹波市
	真珠殻	10 洲本市周辺
真珠加工	74 神戸市	
窯業・土石	出石焼	6 豊岡市
	丹波立杭焼	62 篠山市
	粘土瓦	85 淡路市、南あわじ市
	宝殿石（竜山石）	6 高砂市
機械・金属	鋸	25 姫路市
	ボルト・ナット	13 神戸市、姫路市
	利器工器具	153 三木市周辺
	家庭刃物	61 小野市周辺
	鎌	31 小野市周辺
	ゴルフ用具	7 姫路市周辺
	釣具	14 丹波市
釣針	73 加東市、西脇市周辺	

（出典：兵庫県「地場産業一覧」）

### 【地場産業例】



上：豊岡靴

左：播州織

（出典：近畿経済産業局 HP）

## 見えてきた兆し

### 【地場産業の海外展開例】

#### ○手延べそうめん



ベトナムのスーパーにおいて試食イベントを開催

（出典：兵庫県「地域創生戦略会議・しごと創出ワーキングチーム第1回討議資料」）

#### ○線香



フランス国立グラン・パレ美術館で、淡路島のブランド線香「あわじ島の香司(こうし)」を販売

（出典：兵庫県「ひょうご経済・雇用活性化プラン平成26年度の主な取組み状況・トピックス」）

### 【専門家等の意見】

○地域に地場産業があるというのは、今自分たちがその分野で高い技術を手に入れているということ（兵庫県 HP「すごいすと バッグデザイナー由利佳一郎氏 取材記」）。

○現場にいるからこそデザインができる、アートなものが見える、新たなデザインが芽生える、浮き上がる（H27.8.11ひょうご経済・雇用活性化プラン推進会議議事録）。